

2013 AUTOBACS SUPER GT Round 5  
第42回 インターナショナル ホッカサツポロ 1000km

2013年8月17日(土)~8月18日(日)

決勝 レポート

173 Laps



場所: 鈴鹿サーキット(三重県) 1周 5.807 km

天候: 晴れ / コース: ドライ / 気温: 34℃ / 路温: 47℃ / 観客動員数: 36,000人

**SUBARU BRZ 初の勝利を獲得!**

2013年 SUPER GT シリーズ第5戦の決勝が、鈴鹿サーキット(三重県)で開催された。この日も朝から真夏の日差しが降り注ぐ一日となった。前日の予選で素晴らしい結果をつかんだチームは、表彰台中央を目指し出来る限りの準備を施し決勝に臨んだ。

8月18日(日)

<決勝 173LAPS / 12:30~>

#61 SUBARU BRZ R&D SPORT のスタートドライバーは佐々木孝太が担当する。佐々木は好スタートを決め、1周目にして後続を引き離し戻ってくる。2周目以降も佐々木は圧倒的な速さで周回を重ね、その差は20周目には35秒、25周目には45秒の大差となった。28



www.rdsport.net

周目、予定通り1回目のピットイン。タイヤ交換、燃料補給、ドライバーを井口卓人に交代しピットアウト。井口は安定した素晴らしい走り続ける。58周目、後続から1分30秒近くリードしたところで、予定通り2回目のピットイン、タイヤ交換、燃料補給、井口から山野哲也にドライバー交代。山野も快走を続け、後続を引き離す。しかし、62周目、他の車両の火災が発生し、この対応のためにセーフティーカー・ランが9周続く。その後レースは再開、ポジションはトップのまま再スタートしたが、今までに築いた後続とのマージンは無くなってしまった。それでも山野は順調に周回を重ね、再び後続に1分近い差を作り、96周目、予定通りの3回目のピットインで再び井口にドライバー交代。井口は安定したタイムで周回をこなし、127周目、後続との差を1分半に広げたところで、予定通りのピットイン。佐々木に代わり順調にピットアウトした。このままリードしてレースを終えると思った次の瞬間、佐々木より「車がおかしい」との無線連絡が入る。モニターを見ると、リアのアンダーパネルが破損してタイヤから煙が上がっている。どうやらレース序盤で GT500車両にぶつけられた部分が最後の最後に壊れた模様である。ラップタイムも上がらず、このままでは2番手のBMW に追いつかれてしまう。チームはリアタイヤ交換、燃料補給、破損個所の修理を決断し、緊急ピットインを佐々木に指示、142周目ピットイン。チームクルーの迅速な判断と作業により27秒で佐々木をコースに戻す。僅差でBMWに先行を許してしまうが、充分追いつく位置に戻る事が出来た。佐々木は冷静に追い上げ、146周目、ヘアピン出口でBMWとサイド・バイ・サイドとなり、スプーン手前で逆転、トップを奪還する。そのまま後続を引き離し、見事トップチェッカーを受け、#61 SUBARU BRZ R&D SPORT の初優勝をもたらした。なお、500クラスは#18 ウィダー モデューロ HSV-101が制した。



#### ■本島監督 コメント



鈴鹿1000Km で勝つ事はシーズンで一番困難な事ですが、昨日からの流れも良く、ドライバーもスタッフもみんな頑張って完璧な仕事してくれたので達成できたと思いますし、チームとして SUBARU BRZ のポテンシャル及びミシュランタイヤの性能を充分引き出した1戦でした。また暑い中、スバルファンの熱い応援に大変感謝しております。有難うございました。この勢いで次戦の富士に挑みたいと思います。



## ■山野 哲也 コメント



世界中のSUBARUファンが望んでいた日が今日の鈴鹿でした。今年は一発の速さはあったものの決勝では安定した速さが足りなかったBRZでしたが、今回このBRZが著しく進化しました。マシンのセットアップ、タイヤとのマッチング、そしてコーナリングの多い鈴鹿サーキットとの相性、すべてが我々に味方しました。フリー走行から予選、決勝まですべての部門でトップタイムを出せたパーフェクトパフォーマンスだったと思います。決勝後半でマシントラブルがあったものの、チームの素晴らしい判断と作業で最低限のロスでコース復帰できました。チーム全員で勝ち取った勝利です。個人的にはSUPER GTで10勝目を挙げる事ができました。オールスター戦を含めると12勝目です。また土曜日の予選では9年ぶりにコース記録をも更新する事ができました。最高の週末でした。このチームに所属していて本当によかったです。関係各位、そして世界中のファンの皆様に心の底から感謝しています。

## ■佐々木 孝太 コメント



まずは、今までチームを支えてくれた関係者の方々へ感謝したいと思います。やっと勝てた！という気持ちが一番です。みんなの努力がなかなか結果につなげる事が出来ず、ドライバーとしても辛い時期もありましたが、みんなの勝利に対するモチベーションは高く、今回は公式練習、予選、日曜日のフリー走行、そして決勝のベストラップすべて一番と、どんな状況でもチームが作ったBRZは扱いやすく最高の車でした。このスピードを維持しながら、チャンピオンに向けて最後まで全力で走り続けたいと思います！個人的には、現在GT記録である年間最多ポールポジションも狙っていきます！

## ■井口 卓人 コメント



まずは、スバルBRZの初優勝に立ち会えた事を非常に嬉しく思います。車も非常に速かったですし、ミシュランタイヤのパフォーマンスも高く、最高の環境でレースを走る事が出来ました。レースでは、チームのミスも無く、毎セッション正しい判断でドライバーを助けてくれたと思います。今回の勝利は、関係している皆の「勝ちたい」と言う気持ちが1つになった結果だと思います。どこのチームよりも、その気持ちが高かったのだと思います。第3ドライバーとして乗るチャンスを下さった関係者の皆様には、本当に感謝しています。そして、スバルファンの皆様も暖かく見守って頂きありがとうございました。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>  
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2013年8月18日  
SUBARU BRZ  
アールアンドデースポーツ  
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net